

令和8年度 府立海洋学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（**計画段階**・実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>家庭・地域社会及び関係機関との連携を図り、自ら課題を発見し解決する能力を備えた、未来を切り拓き地域創生に資する水産・海洋のスペシャリストを育成する。</p> <p>（重点・新規項目）</p> <p>1 「第2期 京都府教育振興プラン」「府立高校の在り方ビジョン」「魅力ある府立高校づくり推進基本計画」「スクール・ミッション」等に基づく学校経営及び「スクール・ポリシー」の趣旨を踏まえた、地域への貢献度を高める新しい学校づくり</p> <p>2 学校運営協議会の取組も踏まえた地域創生に資する人材育成</p> <p>3 学習指導要領・観点別評価の円滑な実施</p> <p>4 生徒1人1台学習用端末の円滑な利活用</p> <p>5 寮の適正な運営及び下宿との連携</p>	<p>（成果）</p> <p>1 家庭との連携及びケース会議や教育相談会議等の実施による個に応じた支援で、寮、下宿を含めた生徒の生活を安定させている。</p> <p>2 進路について、消防や京都府海洋調査船乗組員といった公務員も含め、ほとんどが学習内容を深化・発展させる分野に進んだ。また、国公立大学33年連続合格を始め、スポーツ推薦や水産・海洋関連分野以外を含めて、幅広い分野の大変質の高い進路実現を果たすことができた。</p> <p>3 実践的な教育活動により、本校の持ち味を生かした研究活動に取り組むとともに、教育長表彰に63%該当、マリンマイスター顕彰対象生徒も卒業生の67%が該当（全国約2,300人のうち上位11名に、本校から5名（特別表彰））するなど、レベルの高い資格を取得する生徒数が持続し、大会やコンテスト等への出場・入賞でも実績を積んでいる。</p> <p>4 ほとんどの生徒が何らかの部活動に加入し、高校生活の充実に努めた。高校新記録樹立を達成した部活動もある他、複数の部活動で、府・近畿・全国大会及び国際大会出場や入賞の実績を重ねている。</p> <p>5 生徒会活動並びに図書館活動の充実により、生徒が多様な価値観をもち、学習・研究活動の幅を広げている。</p> <p>6 宮津商工会議所及び海上保安学校との連携協定によるキャリア教育や海上保安学校訪問交流、学校運営協議会による地域の魅力を感じさせる教育活動が継続できた。</p> <p>7 音楽を接点とするところの講演会や人権講演会等外部講師による心に響く講演会が実施できた。</p> <p>8 キャリアプランニング・サポート（小、中学校への学習・体験等提供）並びにコラボ推進プログラム等に、府北部を中心とする児童・生徒が参加し、本校教育内容への動機付け並びに水産・海洋分野への理解を深めてもらうことができた。</p> <p>（課題）</p> <p>1 「スクール・ミッション」や地域ニーズに応えるとともに、中期経営計画を具現化するため、外部有識者の建言等を踏まえ、中学生及びその保護者等から求められる新しい学校、学科・コースの構築</p> <p>2 地域連携の一層の推進と研究（探究）活動等の充実により、地域活性化意識を醸成する教育活動展開及び進路実績の継承</p> <p>3 学習指導要領・観点別評価及び生徒1人1台学習用端末活用の適切な実施並びに利活用</p> <p>4 生徒、保護者等と教職員との信頼関係構築の一層の推進及び中学生、地域の方等から信頼され、懐れの対象となる人権感覚を備えた教員像の確立</p> <p>5 下宿・家庭・寮での好ましい生活の支援</p> <p>6 ボランティア活動や学校公開等、学校外とつながる取組の適切な実施や更新、教育活動の発信</p> <p>7 業務の整理や効率化による諸取組の適切な実施及び働き方改革の推進</p>	<p>1 普通・専門教育の充実と希望進路の実現</p> <p>(1) 生徒1人1台学習用端末の活用を基にした、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる。</p> <p>(2) 授業（実習）改善と海洋プロジェクト等の充実により、進路の選択・決定における自己実現を支援する。</p> <p>(3) 地域人材を活用したキャリア教育や外部機関等とのつながりを充実させることで、府北部活性化のために何が出来るようになるかを展望させ、地域創生に結びつける。</p> <p>(4) 思考力・判断力・表現力の醸成を基に、校内外の連携や課題の共有に努めながら、探究活動の質をより向上させる。</p> <p>(5) 読書活動・図書館活動の充実を図る。</p> <p>2 基本的生活習慣の定着</p> <p>(1) 生徒指導提要の改訂を踏まえ、「生徒心得」等生徒指導の考え方を共有し、一貫した指導体制の確立を図るとともに、それぞれの課題に応じた指導を推進する。</p> <p>(2) 道徳性や規範意識を大切にし、人権感覚を前提にしながら、状況に応じた行動（ふるまい）ができる人間性を育む。</p> <p>(3) 成年年齢引き下げを踏まえ、社会人としてより一層責任と自覚ある行動を促す。</p> <p>3 心の育成</p> <p>(1) 系統的な人権教育により、生活の中に生かされる指導を行う。</p> <p>(2) 日常的な声かけに努め、成長を確かめ合いながら自己有用感を育む。また、主体的な行動を促し公共心を育成する。</p> <p>(3) 互いの個性や多様性を認め合い、生かしながら共に学ぶ仲間づくりを進める。</p> <p>4 安心・安全・衛生管理の徹底</p> <p>(1) 法やルールを守り、他者を思いやる気持ちを行動につなげる能力や態度を育成するとともに、生活全般での安心・安全を徹底する。</p> <p>(2) 実習（実習船含む）に常に緊張感を持って臨むとともに、点検・確認や円滑な情報伝達及び共有を怠らず、安全第一を徹底する。</p> <p>(3) 感染症対策・対応を徹底するとともに、防災や減災、災害時への適切な対応についての意識を醸成する。</p> <p>5 広報活動の充実と家庭・地域との連携強化</p> <p>専門学科や進路、部活動等の取組を中心とする迅速かつ積極的な広報に努め、本校の魅力を発信、アピールする。</p> <p>6 職場改革の推進</p> <p>(1) 職員それぞれが職務にやり甲斐を感じ、Well-beingの実現が図れるよう職場環境の改善を図る。</p> <p>(2) DXの推進等を通じた働き方改革により、生徒と向き合える時間を確保するとともに、学校職員としての資質向上に努める。</p> <p>(3) 職員がお互いを慮り合いストレスの軽減に務めるとともに、業務のスリム化や生産性の向上、共有・協働・分担、分掌等の枠にこだわらないOJT、スキルの伝承を推進する。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
学習指導 進路指導	普通・専門教育の充実と 希望進路の実現	生徒1人1台学習用端末の活用を基にした、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる。		
		授業（実習）改善と海洋プロジェクト等の充実により、進路の選択・決定における自己実現を支援する。		
		地域人材を活用したキャリア教育や外部機関等とのつながりを充実させることで、府北部活性化のために何ができるようになるかを展望させ、地域創生に結びつける。		
		思考力・判断力・表現力の醸成を基に、校内外の連携や課題の共有に努めながら、探究活動の質をより向上させる。		
		読書活動・図書館活動の充実を図る。		
生徒指導	基本的な生活習慣の定着	生徒指導提要の改訂を踏まえ、「生徒心得」等生徒指導の考え方を共有し、一貫した指導体制の確立を図るとともに、それぞれの課題に応じた指導を推進する。		
		道徳性や規範意識を大切にし、人権感覚を前提にしながら、状況に応じた行動（ふるまい）ができる人間性を育む。		
		成年年齢引き下げを踏まえ、社会人としてより一層責任と自覚ある行動を促す。		
健康安全	心の育成	系統的な人権教育により、生活の中に生かされる指導を行う。		
		日常的な声かけに努め、成長を確かめ合いながら自己有用感を育む。また、主体的な行動を促し公共心を育成する。		
		互いの個性や多様性を認め合い、生かしながら共に学ぶ仲間づくりを進める。		
	安心・安全・衛生管理の徹底	法やルールを守り、他者を思いやる気持ちを行動につなげる能力や態度を育成するとともに、生活全般での安心・安全を徹底する。		
		実習（実習船含む）に常に緊張感を持って臨むとともに、点検・確認や円滑な情報伝達及び共有を怠らず、安全第一を徹底する。		
		感染症対策・対応を徹底するとともに、防災や減災、災害時への適切な対応についての意識を醸成する。		
学校経営 組織運営	広報活動の充実と家庭・地域との連携強化	専門学科や進路、部活動等の取組を中心とする迅速かつ積極的な広報に努め、本校の魅力を発信、アピールする。		
		職員それぞれが職務にやり甲斐を感じ、Well-beingの実現が図れるよう職場環境の改善を図る。		
	職場改革の推進	D Xの推進等を通じた働き方改革により、生徒と向き合える時間を確保するとともに、学校職員としての資質向上に努める。		
		職員がお互いを慮り合いストレスの軽減に務めるとともに、業務のスリム化や生産性の向上、共有・協働・分担、分掌等の枠にこだわらないOJT、スキルの伝承を推進する。		

学校関係者 評価委員会 による評価	
-------------------------	--

次年度に 向けた改善の 方向性	
-----------------------	--